

すなお

令和6年8月号

発行所 天理教瀬戸路分教会

〒794-0007 今治市近見町4-5-10

URL <https://www.tenrikyo-setoji.net/>

☎ 0898-23-5004 責任者 二宮英治

発行日 2024.8.16 通巻 No.769



会 長

今年の夏は猛暑、酷暑が続いています。論達第4号の中に

「ふしから芽が出る」と、成ってくる姿はすべて人々を成人へとお導き下さる親神様のお計らいであると諭され、周囲の人々を励まされた。

とあります。ここで大切なことは【すべて】と仰られていることです。普段は立場や状況などから（これだけは違う）とか（これだけは意味が分からない）とか、それぞれの人の感覚によって成って来た姿の良し悪しを判断していることはないでしょうか？それぞれが理解出来るとか出来ないとかは全く関係のないことで、ただただ子供である人間一人一人の心の成長を願うということであるということです。

最近の異常気象も多発する地震も「ふし」です。それぞれが味わう病気も事情も「ふし」です。たまたま成ってくるのでは決してありません。必ず親神様の思惑があって見せて下さっています。その深い願いをともに悟らせていただき「ふし」から芽を腐らせることの無いよう、後々の喜びの種へと切り替えて通らせていただきますよう。



こどもおちばがえり

田中 道則

7月27日、28日でこどもおちばがえりに参加させてもらいました。瀬戸路隊として大人5人、子供3人で帰らせてもらいました。行く前から暑さ対策だけは万全にしておかなければとクーラーボックスに色んなグッズを入れていきました。陽都はすぐ抱っこになるので、自分と子供のお腹の間にアイスノンを挟み、首冷えのリングを付けて参拝しました。その後はすぐに詰所に戻り、夜の詰所行事に参加させてもらいました。会長さん、真悟くん、もっくん、勇輝くんが中心となって演奏、クイズと子供たちを楽しませてくれました。

その後、直美ちゃんの旦那さんと陽都と3人で屋台のスタミナラーメンを食べに行き最高の夜になりました！陽都はラーメンは辛いので名物スパムおにぎりをたくさん食べていました。子供たちは最後まで元気に過ごすことが出来て何よりでした。

去年、行く直前に陽都が体調を崩しそのまま肺炎で入院しました。猛暑のおちばでしたが、元気で帰らせてもらえた喜びを忘れず日々つとめていきたいです。



真っ直ぐ行って、真っ直ぐ帰る

井上 直美

7月27、28日に瀬戸路の教会から家族5人でこどもおちばがえりに参加しました。家族で帰るおちばは3回目でしたが、今回は1番心が勇んで、喜んで、ありがたいおちばがえりでした。というのも、今までいつも家族で寄り道を計画していました。

1回目はあまり遠出をしたことのない義母に喜んでもらえるのでは、、、とUSJに行ってからで、2回目は次女のおびやゆるしをいただいて帰りに大阪に寄ろうと計画していたのです。しかし2回目の時、いつも健康で熱など滅多に出ない主人がおちばで高熱を出しました。別の日、16日で教会の月次祭の帰りに今治イオンに寄ろうと話していたら、教会から帰る直前に次女が熱を出しました。

(ああ、これは偶然じゃないな) 神様に「寄り道せずに真っ直ぐ神様の元へ行って帰りなさい」と言われているなと感じました。自分の心を見つめ直すと、信仰のない主人と母をおちばや教会に誘うのは、やはり少し勇気がいる事で「神様だけじゃなくて、ついでに楽しい事もしようよ」と私の誘い文句と言いますか、神様に申し訳ない心遣いをしていました。

その事を通して今回はまっすぐおちばへ。主人も初席を受けて、義母は初めてお手振りをしてくれました。本当に心が勇んで、寄り道なんかしなくても家族みんなが今までで1番笑顔のおちばがえりになりました。

《教会ニュース》

秋季霊祭時間変更

来月1日は日曜日ですので、午前10時より霊祭をつとめさせていただきます。

初席報告

こどもおちばがえりに家族で帰られ、7月28日に井上雅史さんが初席を運ばれました。

詰所ひのきしん

今年も27日、28日と帰って来る子供達を楽しませるための「ミッド・ハーモニック・フェスティバル」が詰所5階大広間で開催されました。演奏者として二宮真悟さん、クイズ大会のサポートとして二宮元輝さん、大洋輝から大西勇輝さん、友人の黒北大翔さん、葛城からは中垣仁志さんが参加してくれ、それ以外にも大勢の方々の協力を得て行事をつとめることが出来ました。